

2007年3月

鶴原製薬株式会社

ボラボミン錠 「効能・効果」追加に関するお知らせ

拝啓、時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

平素は弊社製品に対し格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度ボラボミン錠の「効能・効果」の追加、変更が平成19年2月23日付にて下記のとおり承認されましたのでご連絡申し上げます。

敬具

記

下線部変更箇所

	変更前	変更後
効能・効果	<p>① 下記の疾患ならびに症状の鎮痛・消炎 慢性関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症</p> <p>② 手術ならびに抜歯後の鎮痛・消炎</p> <p>③ 下記疾患の解熱・鎮痛 急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）</p>	<p>① 下記の疾患ならびに症状の鎮痛・消炎 <u>関節リウマチ</u>、変形性関節症、変形性脊椎症、腰痛症、腱鞘炎、頸肩腕症候群、神経痛、後陣痛、骨盤内炎症、月経困難症、膀胱炎、前眼部炎症、<u>歯痛</u></p> <p>② 手術ならびに抜歯後の鎮痛・消炎</p> <p>③ 下記疾患の解熱・鎮痛 急性上気道炎（急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む）</p>
用法・用量	<p>①、②の効能・効果に使用する場合 通常、成人には1日量75～100mgとし原則として3回に分け経口投与する。また、頓用する場合には25～50mgとする。 なお、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p> <p>③の効能・効果に使用する場合 通常、成人にはジクロフェナクナトリウムとして1回量25～50mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大100mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p>	<p>①、②の効能・効果に使用する場合 通常、成人には<u>ジクロフェナクナトリウム</u>として1日量75～100mgとし原則として3回に分け経口投与する。また、頓用する場合には25～50mgとする。 なお、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p> <p>③の効能・効果に使用する場合 通常、成人にはジクロフェナクナトリウムとして1回量25～50mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大100mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。</p>

以上